

# 日華連 会報

中西林原外喜

## 第128号



### 幹部会 総会 第11回 時代を彩る百花繚乱展



## 一般社団法人日本華道連盟

東京都新宿区百人町2-18-20 ☎03-3369-3769

発行人 塚越 応 鐘

編集人 渡邊 華 凰

平成28年度

(一社)日本華道連盟

# 総会並びに新年会

## 総会

一月十七日(日)正午から京王プラザ・錦の間において、一般社団法人日本華道連盟の総会が行われた。長田華鳳事務局長の司会のもと、井口理香副理事長の開会の挨拶に続き塚越応鐘理事長より挨拶があった。「あけましておめでとうございます。中曽根弘文先生、今年選挙の年。地元の私は頑張ります。昨年の日華連の行事はすべて大成功でした。浅草ビューホテルでは開演五分前に火が出てし



▲塚越応鐘理事長

まいましたが、奇跡的にも講演を行うことができました。国民文化祭は康弘先生が総理を務めていた時から三十四回、今回は愛知県、大分県となります。

年鹿兒島は中央からソテツを持ち込み、統一華材でチームワーク良く素晴らしい作品が仕上がりました。国民文化祭は年々地方の方が多く中央からは少なくなっている現状です。華道界が厳しく若い方が入門しない。しかし歴史を見ますと栄々な時代、厳しい時代とくり返してまた良き時代が来ると思います。昨年国民文化祭で印象に残ったのは甌島の自然が残る、素晴らしい景色、そして海の幸を満喫して帰りました。いつまでも自然が残ると良いですね。日華連は仲の良い団体として皆で力を合わせ華道界を盛り立てていただければ良いと思います。」

▼井口理香副理事長



▶加辺成久会計部長



次の中曽根弘文先生の秘書、上屋様からは、「皆様あけましておめでとうございます。中曽根は国会が始まり、また、今年選挙の年となりました。若い方々に日本の伝統芸能に関心をもってもらえないので、若いころから触れるよう華道伝統行事をとり入れること

▼岡野闘華齋企画部長



を続けていきたいです。来るオリンピックではオープンングセレモニーが文化の祭典、歴史文化となっており。アメリカ出張の時つた日系人いわく、三世、四世になると日本人を捨ててアメリカ人となっていくとのことでした。しかし今は日本の伝統文化を求めて日本へ来る人が多くなりました。それぞれの文化団体が日本のことをアピールして役目をはたし、更に大きい団体になっていくことを願っております。」とのことをお言葉を



◀中曽根弘文先生秘書 上屋様

頂きました。その後、塚越応鐘理事長を議長として議事に入り、とどこおりなく進行し終了しました。そして渡邊華鳳副理事長の閉会の言葉で総会は閉じられました。



▶渡邊華鳳副理事長

### 新年会

午後一時から岡野闘華齋常任理事の司会で開会いたしました。

まず始めに、井口理香副理事長から「今年も我が日本華道連盟は、大地にしっかりと足を根付かせ、一致団結して参りたいと思います。未来に向かって希望を膨らませ、不穏な空気を払拭し、申年の本年、忘れ申すべき嫌な事はさりと忘れ、成すべき事は着実に成し、和やかに楽しくまいりましょう。」と開会の言葉をいただきました。

### 一般社団法人 日本華道連盟役員名簿 (平成28年度)

名誉会長	中曾根弘文
名誉顧問	中曾根康弘
相談役	長田 鳳秀
相談役	高田 秀山

役 職	姓・雅号	流 名
理 事 長	塚越 応鐘	いけばな松風
副理事長	武井 美恵	都古流美和会
副理事長	井口 理香	古流香和会
副理事長	渡邊 華鳳	翠月古流
常任理事	鶴飼理久美	古流みどり会
常任理事	佐藤寿美華	華道池坊寿美華流
常任理事	岡野闘華齋	松月堂古流闘華
常任理事	加辺 成久	東華古流
常任理事	長田 華鳳	池坊鳳秀流
理 事 長	武井 美睦	都古流美和会
理 事 長	小原澤 応菫	いけばな松風
理 事 長	大澤 一焯	松焯古流
理 事 長	篠田 華孝	翠月古流
理 事 長	山崎 応秀	いけばな松風
監 事 長	竹下 応芽	いけばな松風
監 事 長	田代 華晴	翠月古流
参 事 長	鈴木 景山	湖秀流
参 事 長	近藤 昭月	利休古流栄光会
参 事 長	吉澤 一和	遠古古流和松会
参 事 長	山崎 淡葉	勅使河原和風会

ました。次に、塚越応鐘理事長が、「今年はお正月から暖かい日が続き、庭の椿が全種類咲いてしまいました。本日は久々に、日本女性新聞の鳥井さんにご出席いただきました。(中略)

日華連は、仲の良いそんな人達の集まりです。今年もまた、楽しい一年にしていけたらと思います。」とご挨拶されました。

来賓の鳥井雄介様から「先程、理事長先生とお話をしていたのですが、取材をしていると、ここ何年かは個展やグループ展をする人がいなかったのですが、昨年は少

し戻ってきました。皆さんにとって、今年が「芽生えの年」です。厳しい年ですが、皆さんが出て行かないとどうにもなりません。今年も、素晴らしい華展を期待してきます。」と激励の言葉をいただきました。

続いて、佐藤寿美華常任理事の乾杯のご発声で、会は歓談の場に入りました。

そんな中、岡野常任理事から、本日のゲスト「楯直己さん」のご紹介がありました。

「昨年の華道大学でお顔なじみかと存じますが、世界各地の楽器

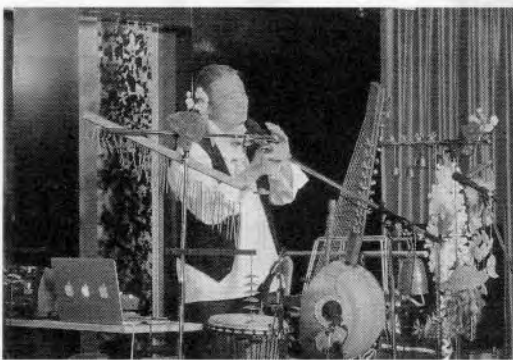
約三十種類を用いて『あ・い・う・え・お』の母音で発声する空間音楽で景色を描くという、素晴らしい音楽を聴かせていただきます。」

### 今回の主な楽器

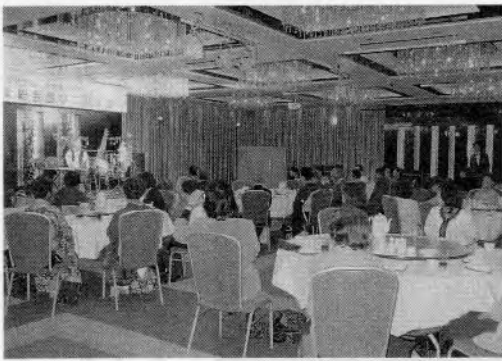
\*ベアフルート：西洋杉をくり貫いた長い笛・空気穴の所に熊の彫り物が付いていて、これがなると音が出ない。

\*カリンバ：箱に並んだ細い金属棒を弾いて演奏する。オルゴールのような音がする。

\*コラ：ハープやギターの原型とも言われ、大きな瓢箪をくり貫き弦を引いた物。アフリカ民族音楽の中で、最も美しい音色を持つとされる。



パーカッション奏者 楯直己さん



\*ジャンベ：西アフリカの太鼓。  
 他に、釘、風鈴、鈴、等々、楯さんの音楽は「花」や「波」をテーマにしているそうです。  
 音色を聴いていると、まるで、会場全体が「海」で、そこに流れる、波の音や風の音が絵のように浮かんでくる。そんな不思議な感覚になりました。  
 楽器に可愛らしい花束を飾られたり、皆さんを和ませていただいたり、楯さんのやさしさを感じたひとときでした。  
 最後に、鶴飼理久美常任理事の閉会の言葉で会は終了いたしました。

第11回 時代を彩るいけばな

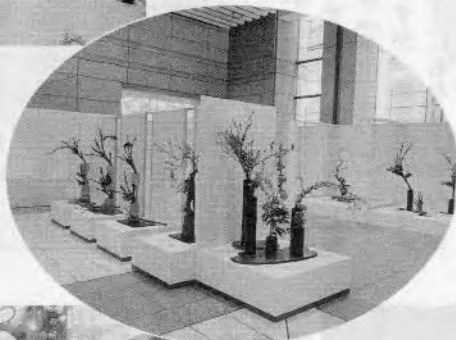
# 百花繚乱展

4月8日(金)～11日(月)  
 新宿パークタワー1階ギャラリー



第十一回時代を彩るいけばな百花繚乱展は、四月八日(金)～十一日(月)まで新宿パークタワー1階ギャラリーにおいて開催された。後援は文化庁、(株)日本女性新聞社。広々としたロビー一面を使い、ゆったりとした華席に題名の如く様々な花々が競い合い、それぞれの流派の特徴が最大限に発揮された見事な出来栄であった。

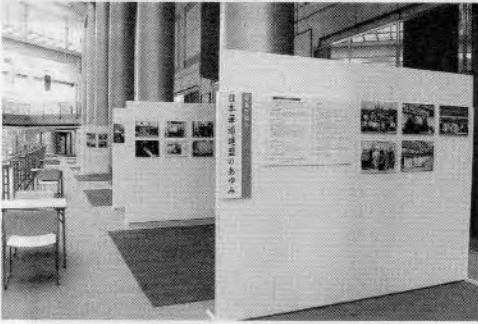
会場風景



▼格花コーナー



▲衆議院議員 細野豪志氏を囲んで



## 日本華道連盟の あゆみ写真展

日本華道連盟のあゆみ写真展は2階の休憩スペースに。

会員にとっては懐かしい写真が80点。思い出の写真数点を紙上でご覧ください。

▶おしゃやかな雰囲気の  
プラタタン銀座での  
日本華道連盟展



▶プラタタン銀座正面入り口  
でのパフォーマンス



▲創立四十周年式典で中曽根康弘名誉会長に感謝状を贈呈する塚越応鐘理事長

◀華道大学講座 大谷康子氏



▶国民文化祭しずおか

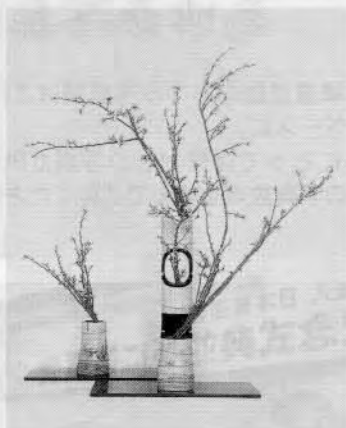


▶国民文化祭とくしま  
で阿波踊りに飛び入  
り参加

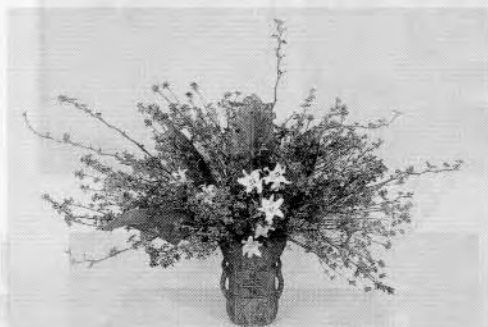


▲海外研修フィレンツェ

作 品



副理事長 武井 美恵



理事長 塚越 応鐘



常任理事 鵜飼理久美



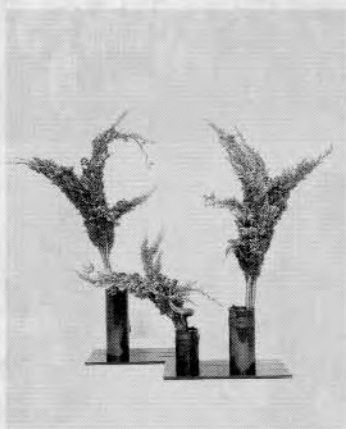
副理事長 渡邊 華風



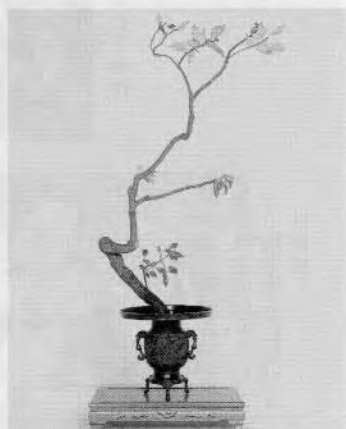
副理事長 井口 理香



常任理事 加辺 成久

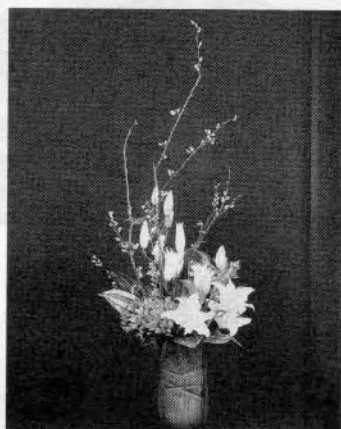


常任理事 岡野闘華齋

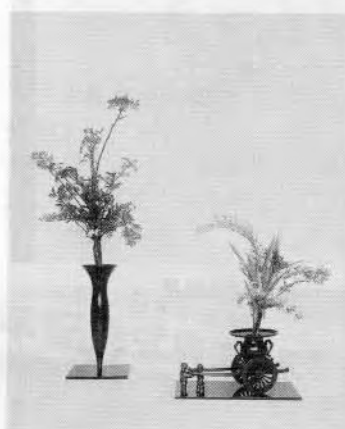


常任理事 佐藤寿美華

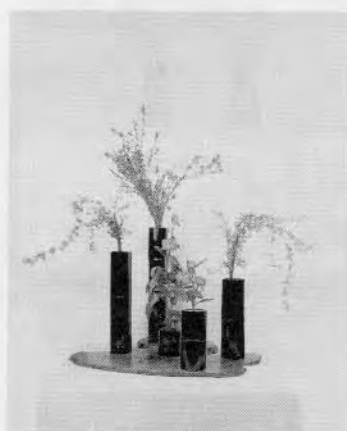
作 品



理事 武井 美睦



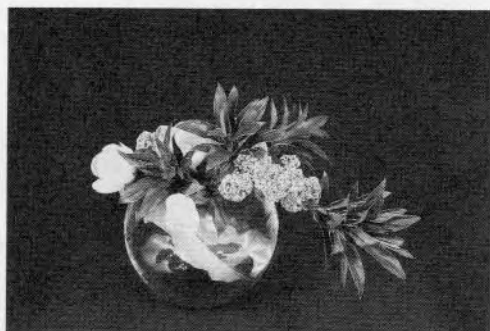
常任理事 長田 華鳳



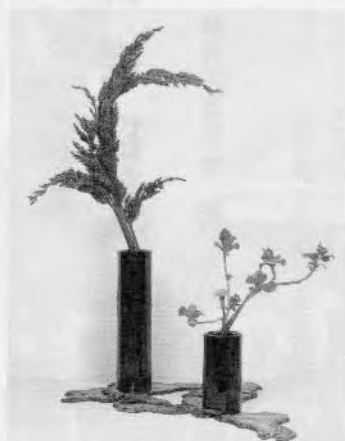
理事 大澤 一煌



理事 小原澤応菁

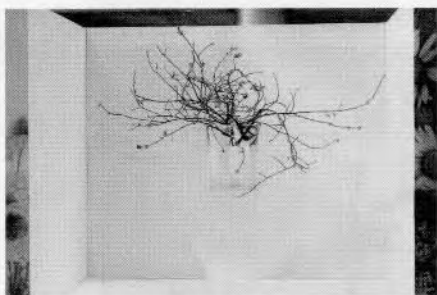


理事 山崎 応秀

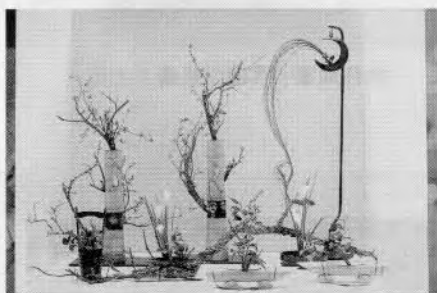


理事 篠田 華孝

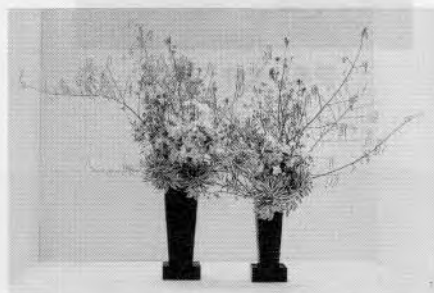
作 品



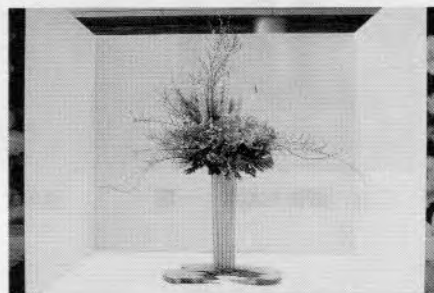
いけばな松風



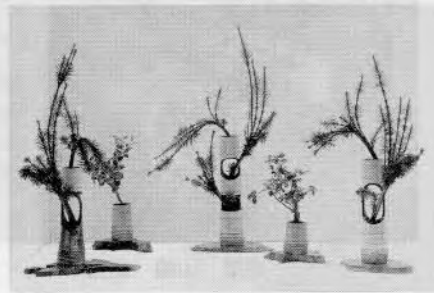
翠月古流



古流香和会



華道池坊寿美華流



東華古流



御挨拶

翠月古流家元 渡邊華凰

新役員紹介

この度副理事長の大役をいただき少々不安です。微力ではありますが受けさせていただきます。思い起すと様々な事が浮かんで来ます。第一回小田急百貨店での

日華展で当流は五席出品いたしました。その折多くの先生方と初めてお逢いいたし、それぞれの流派の特徴に驚き大変勉強になりました。



以来今日まで一度も欠かさず出品し、本年もまた団体席他多く参加させていただきました。一人一人が満足と反省を持ちまた来年に向けて頑張っていくことと思いま

す。私も母の後を継ぎ本部役員となり、企画部長の折様な行事に取り組み、また広報部長の現在、会報を発行しています。これも理事長の協力が大であります。

退かれました田中一峰先生、矢部清華先生、高田秀山先生、人格者であり華道家としての誇りを持ち立派でした。素晴らしく伝統あるお花をいつも目標とさせていた



### 新理事

いけばな松風 山崎 応 秀

今年から日華連の理事になりました、いけばな松風の山崎です。

私と日華連との出会いは、三十九年前青年部での日華展への出版から始まりました。他の流派の方々との交流が、とても新鮮で楽しかったことが今でも懐かしく思い出されます。

数年前から事務局のお手伝いを

られたらと常に思っておりました。各流の家元には二代目、三代目、四代目と続いています。若い世代が日華連の歴史を作っていくことでしよう。日本文化の代表である華道を広め発展させることが大切

です。皆で力を合わせ一つ一つの行事を成功させ、多くの先輩が日華連を愛し、家族的な雰囲気

を築いてくれたことに感謝し、華道の伝統を守り次世代に渡したいと思

います。何を成すにも人格が高めることが必要です。人格が成れば華道も共に立派になります。お互に良い所を出し合って日華連発展のために努力したいと思

います。して参りましたが、昨年より不慣

れながら会計をいたしております。まだまだ経験不足で未熟ではございますが、諸先生方のご指導と会員の皆様のご協力を賜わり、微力ながら日華連の活動のお役に立てればと思っております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



### 新理事に就任して

松煌古流 大澤 一 煌

今年はずが九州で大雪、沖縄でも雪が観測されるほどの寒波に見舞われており、お花の時季「春」を待ち詫びております。

皆さまには、益々ご清祥の御事とお慶び申し上げます。

この度は、理事に承認いただきありがとうございます。このような格別の組織に在籍しております

幸せを、深く感じております。入会いたしました当初は、何も分からず、理事長さま、役員の方から先生方の後ろ姿を拝見しながら色々と学ばせていただきました。「いけばな」を媒介として、楽しく日本華道連盟で歩めた事を思い

起こしますと、時の経つのは早いと感じます。

世の中は変革の時代で、物事が急テンポに変わってきております。さまざま困難、不安、心配

ごとくも起きてくると思われますが、皆様とともに、乗り越えていければと考えております。組織の一員として、皆様方のお力添えで引き締めて、一層の努力を致す所存でございます。至らぬところも多分にあると思

### 新理事に就任して

翠月古流 籾 田 華 孝



昨年、家元より理事にとのお話があり、私など到底つとまる筈もないと、固辞していたのですが、

家元の手助けになればと、受けさせていただきました。先生方の迷惑にならない様に、つとめてまい

たいと思っております。よろしく  
お願いいたします。

日華連展は、昭和五十七年に小  
田急百貨店で初出版させていただ  
きました。忘れられない華展です。  
銀座プラザでは、「自由花」  
の意味をとり違え、一生懸命に生  
けた花が、翌朝出かけて、びっく  
り仰天したことがあります。詳し  
く書けません、こんな人がいた  
なと思う先生方、いらつしゃると  
思います。色々な思いや経験が、

## 新流派紹介

日本古流

雨宮一菁



日本華道連盟に参加させていた  
だくことになりました、日本古流  
の雨宮一菁です。私の故郷は、山  
梨県の一宮町という日本一の桃生

ギョツとつまっております。

華展で、生花と自由花が別々に  
なっているのは、他では見たこと  
もありません。レイアウトも毎年  
同じではなく、先生方の工夫と配  
慮が感じられ、日華連の特長とし  
て素晴らしいです。

華道は奥深いものです。これか  
らも精進していきたくと思ってお  
ります。よろしくお願いいたしま  
す。

産地です。幼少期から豊かな自然  
に囲まれ、四季折々の草花の変化  
を身近に感じて過ごしました。最  
も美しい原風景は、桃の花が満開  
になり、桃の花のシャワーを浴び、  
視線を足元に向けてと花びらが敷  
き詰められて鮮やかな桃色となっ  
た絨毯を歩く瞬間です。大学に進  
学した後に東京で暮らすことにな  
り、日本古流の三世家元角田一忠  
先生に入門いたしました。とても  
華奢で美しい家元先生は、お稽古  
の時に初代家元の「いけばなは偽  
りなきを道として、己が心を映す  
ものなり」というお言葉を何度も  
教えて下さいました。華道を通じ、  
人として清く正しく生きることを  
学ばせていただいたことが、現在  
も教鞭を執ることの土台となりま  
した。現在は四世家元にご指導を

仰ぎ、教え子たちに華道を教えて  
おります。日本大学国際関係学部  
にて翠月古流家元の渡邊華風様か  
ら入会のお誘いを頂きましたこと  
に感謝をしております。日本の伝  
統文化である華道の尊さ、美しさ、  
そして楽しさを共有させていただ  
きますことを大変光栄に思いま  
す。

## 新入会

緑星流

坂巻佼星



この度、翠月古流御家元であら  
れる渡邊華風先生の御紹介で入会  
させて頂きました。渡邊先生  
とは日本大学国際関係学部で教員  
として、また日本大学レディス桜  
門会（校友会）会員としてお世話  
になっております。私の専門は中  
国古典文学と日中文化交流で、現

在は中国語と留学生のゼミを担当  
しています。

緑星流といえますのは私の祖母  
が創流いたしました、二世家元緑  
星（伯母）も日本大学出身です。  
佼星は副家元名で、次代は娘が襲  
名予定で、この娘も日本大学で学  
びました。

初代緑星が押川如水門下で研鑽  
し、昭和二十七年に文京区で華道  
教場を立ち上げ、昭和四十一年世  
田谷へ移転してからはずっと世田  
谷区華道茶道協会・いけばな協会・  
東京都花道協会会員として活動し  
ました。

私佼星は現在国際国流センター  
の仕事として北京・台北・高雄市  
などでのいけばな講演やデモン  
ストレーションをしております。

また、今年度より本務校の十文  
字学園女子大学で花道部を立ち上  
げ若い学生や留学生にいけばなを  
広めたいと思っております。

数年前、日華連が玉川高島屋で  
花展を催された際「お客」として  
拝見いたしました。この度入会を  
御許可下さり、活動の場が一層広  
がることに大きな喜びを感じてい  
ます。諸先生方、まだ未熟な若輩  
者ではございますが、どうぞ色々  
と御教示御友誼を賜ります様、よ  
ろしくお願い申し上げます。

# 各地各流

## 第47回高崎市華道協会

### いけばな展

3月11日(金)～14日(月)

恒例の高崎市華道協会いけばな展・高崎市民いけばな展は三月十一日(金)から十四日(月)に高崎シティギャラリー第一展示室で

開催された。

六十歳以上の男性を対象に「おやじいけばな体験教室」、小学生を対象にした「キッズいけばな体験教室」が同時開催され、いけばな花はそのまま展示された。

また会場内特設ステージでは箏、尺八、フォルクロレ、ハーモニカの演奏が連日観客を楽しませてくれた。



◀おやじの皆さんも真剣そのもの



▶アンケートでは全員が楽しかったと答えたキッズいけばな体験教室



◀群馬三曲の皆さんには一日2ステージを終日出演いただいた



▲迫力あるハーモニカの合奏 みやまハーモニカクラブの皆さん



▶人気を博したフォルクロレ「アングレスの風」の皆さん

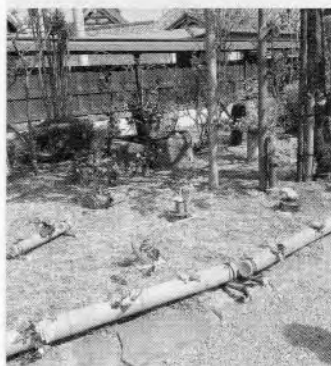
## 我が家で遊ぶ

いけばな松風とめりんすの花  
榛名支部長 石川応紫宅では

3月26日(土)・27日(日)

多くの観客を集めいけばな展が開催された。自宅と庭には数え切れないほど作品が並び訪れた人たちの目を楽しませた。

展示の様子



### 水族館でいけばな展

アクアマリン福島企画展に  
いけばな松風いわき支部・郡  
山支部が参加

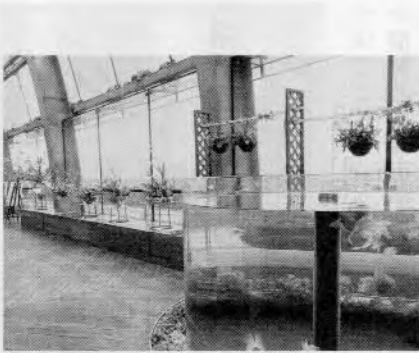
震災から五年、いわき市小名浜  
のアクアマリン福島では「桜金魚  
と春の花たち」をテーマにいけば  
な展が開催された。池坊、小原流、

桜金魚と春の花たち

いけばな松風いわき支部

### いけばな展

会期 三月三十日(水)～四月三日(日)



水槽内は「桜金魚」

龍生派、いけばな松風の四流派に  
よるリレー展は館内の観客の目を  
楽しませた。



### ワクワク体験ひろば

藤沢市文化団体連合会会長

長田 華鳳

藤沢市文化団体連合会(会長…  
長田華鳳)と藤沢市が連携して毎  
年実施している『ワクワク体験ひ  
ろば』が、去る二月十三日と十四  
日の二日間に渡り、藤沢市民会館  
で実施された。今回で三回目とな  
る事業だが、これは、衰退傾向に  
ある伝統文化と次世代育成を広く  
生涯学習の立場で考えた事業であ  
る。今年では会場の都合で、一日半  
の開催になったが、一四四二名と  
いう、昨年以上の入場者を数えるこ

とができた。

藤沢市では、次世代育成を単に  
若年層への提供イベントとは考え  
ずに、生涯学習の見地から小学生  
～高齢者までを対象として考え、  
今後は藤沢市の代表的な事業の一  
つにするべく援助している。

内容は、華道・茶道・書道・箏・  
尺八・三味線・琵琶・謡曲と仕舞・  
吟詠など多岐にわたりすべて無料  
で体験できる催しで、今回は特に  
盆踊りの発祥ともいわれる有名な  
『遊行踊り』をみんな覚えて踊  
ることも好評だった。

このようなイベントには大変な  
労力と資金が必要となる。やはり  
行政の支援は必要不可欠な要素で  
あろう。各地でこのようなイベン  
トが開かれていくことが、伝統文  
化の復活につながるものと思う。



吉田教育長に教える長田華鳳常任理事

### ご案内

【催しのご案内】  
創流95周年いけばな松風本部記念華展  
**満つる頃**  
2016年9月11日(日)・12日(月)  
新宿パークタワー1Fアトリウム

いけばな松風では左  
記のように創流九十五  
周年記念花展を開催し  
ます。  
お出かけいただけ  
ら幸いです。

### 編集後記

平成二十八年度がスタートし、  
総会、新年会、そして新宿パルク  
タワーにおける百花繚乱展と見事  
に成功し、早季節も若葉の季節と  
なりました。役員改選もあり、新  
たな理事やまた流派の入会もあり  
ました。どうぞ各先生方、新会員  
を増やして下さい。次回は十二月  
発刊ですので、十月末日までに、  
どうぞ原稿を御送り下さい。

記録広報部 渡邊 華鳳  
武井 美陸